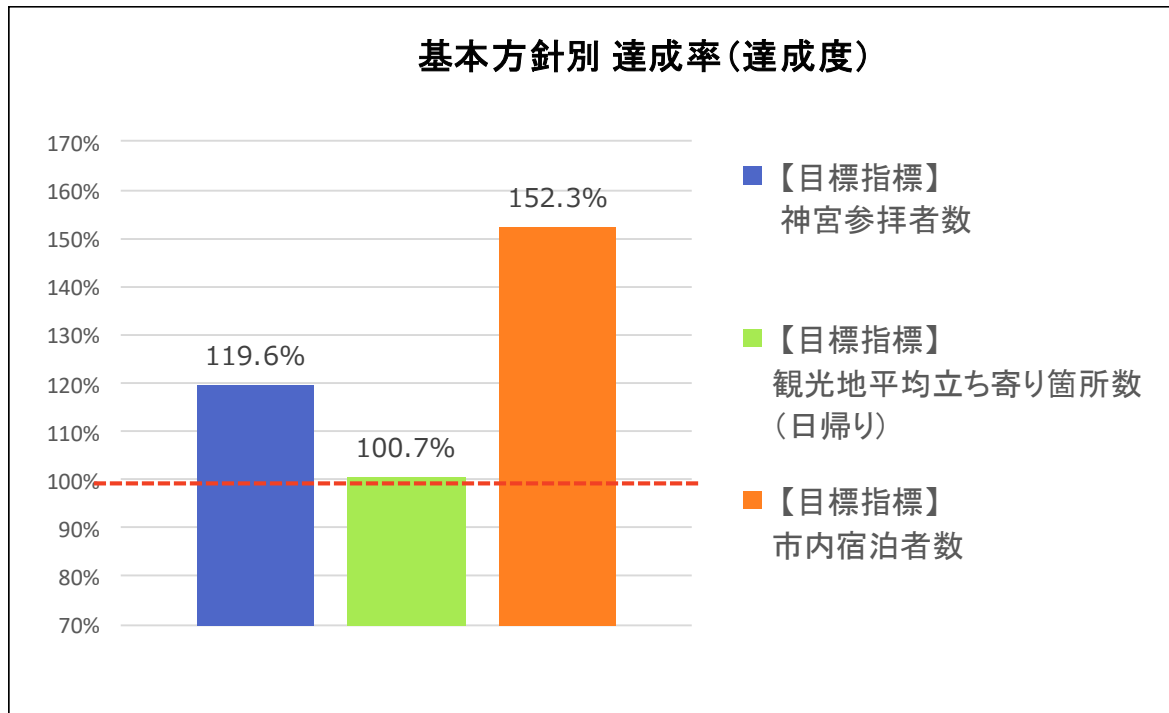


## 伊勢市観光振興基本計画 令和5年度検証結果

## ●目標指標 (KGI)に基づく検証

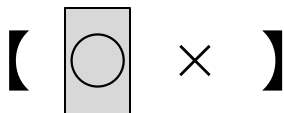
〈全体〉



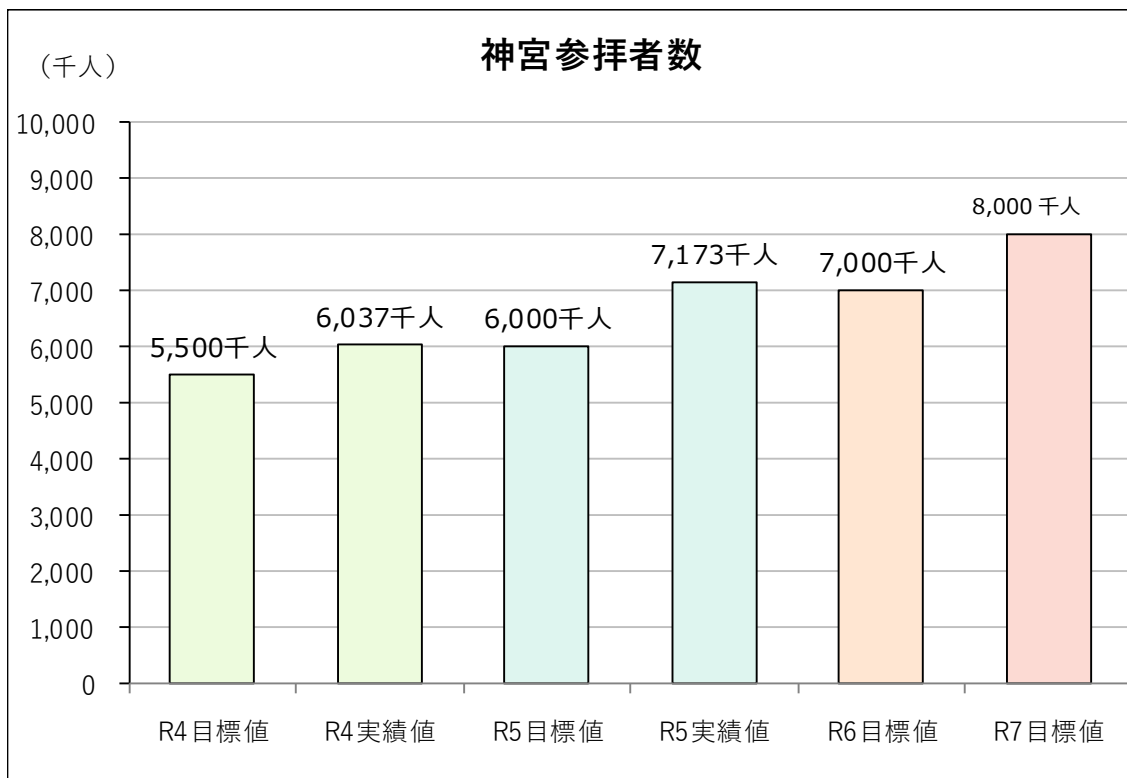
指標ごとの達成率を見ると、「神宮参拝者数」、「市内宿泊者数」「観光地平均立ち寄り箇所数」の3指標とも目標を達成した。

令和5年度は記録的な酷暑などの影響もあり、8月にかけては落ち込みが見られたが、概ね前年を上回るペースで人々が当市を訪れた。前回の遷宮から10年が経過し過去の推移に照らせば次期遷宮に向けて参拝者数が減少する時期ということなど、目標指標に関して不透明さもあったが、年間の神宮参拝者数目標を達成することができた。周遊や分散の指標である観光地平均立ち寄り箇所数(日帰り)は2.91地点となり調査を開始した平成26年以来では過去最高の実績値となった。日帰りする観光客の中で、複数の観光地を周遊する行動が定着してきていると推察できる。市内宿泊者数は、ビジネスホテルの新規開業による受入可能数の増加なども影響し、高い達成度となった。

〈1. 神宮参拝者数〉



・令和4年の神宮参拝者数は717万人で目標値660万人に対して達成率は119.6%、前年値604万人に対しては18.8%増となった。

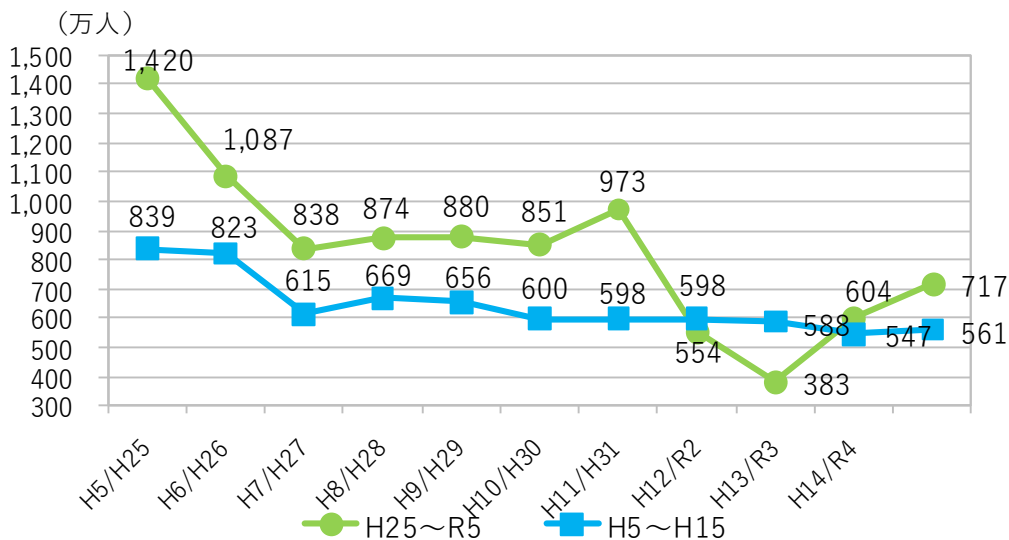


【検証】令和5年の神宮参拝者数は、記録的な酷暑などの影響もあり、8月は落ち込みが見られましたが、概ね前年を上回りました。コロナ禍の収束状況に対する世論の評価が分かっていたことや、前回遷宮から10年が経過し過去の推移に照らせば次期遷宮に向けて参拝者数が低下する時期ということなど、不透明な予測もありましたが、年間の参拝者数は約717万人で目標を達成しました。

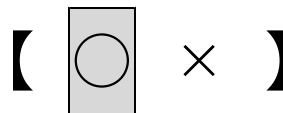
参考

神宮参拝者数 (資料提供：神宮司庁)

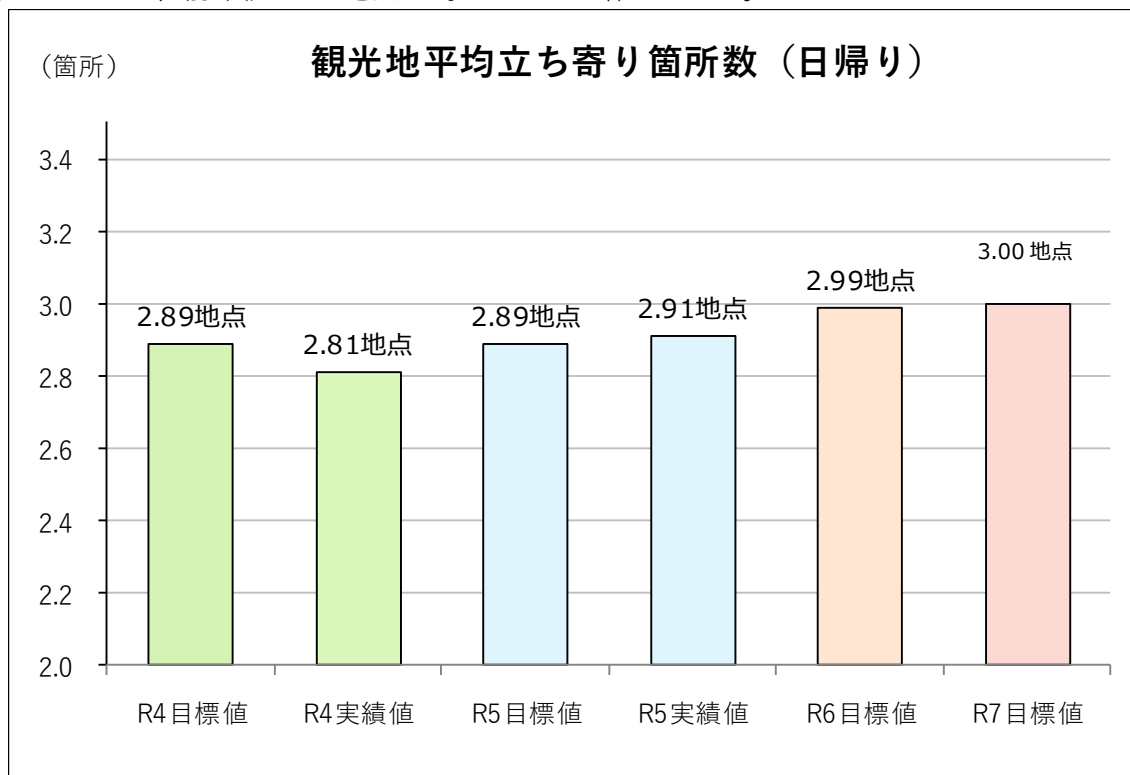
※ H5～H14 と H25～R4 の比較



## 〈2. 観光地平均立ち寄り箇所数（日帰り）〉



・令和5年の観光地平均立ち寄り箇所数（日帰り）は2.91地点で目標値2.89地点に対して達成率は100.7%、前年値2.81地点に対して3.4%増となった。



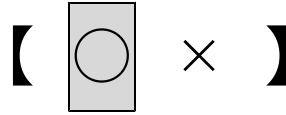
【検証】令和5年の観光地平均立ち寄り箇所数（日帰り）の2.91地点は調査を開始した平成26年以来では過去最高の実績値となった。日帰りする観光客の中で、複数の観光地を周遊する行動が定着してきていると推察できる。

### 参考

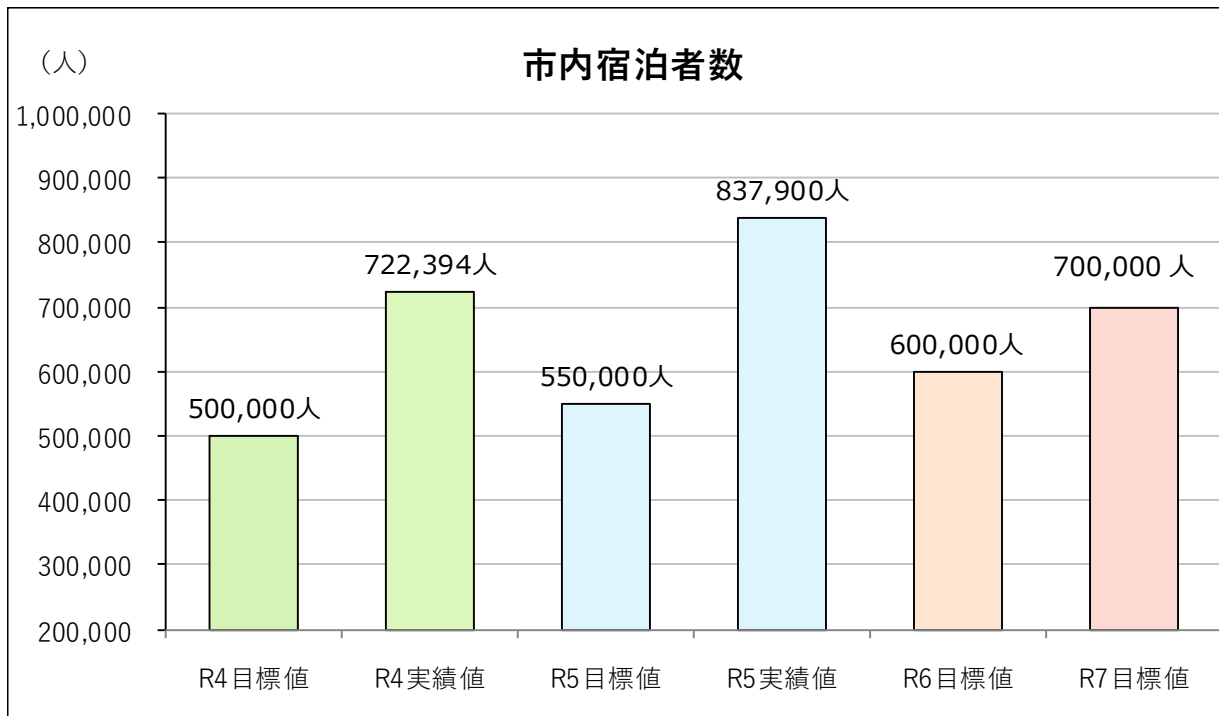
立ち寄った観光地〔上位10位〕（出典：伊勢市観光客実態調査）

項目	構成比(%)			R1差 (ポイント)	R4差 (ポイント)
	R1	R4	R5		
1 外宮参道	41.3	24.3	28.6	▲ 12.7	4.3
2 月夜見宮	3.7	2.3	3.6	▲ 0.1	1.3
3 外宮(伊勢神宮)	43.3	58.5	59.0	15.7	0.5
4 せんぐう館	0.4	1.2	2.5	2.1	1.3
5 猿田彦神社	9.1	11.2	13.8	4.7	2.6
6 月読宮	3.3	2.3	3.2	▲ 0.1	0.9
7 おかげ横丁・おはらい町	78.1	84.7	86.6	8.5	1.9
8 内宮(伊勢神宮)	79.1	75.9	79.8	0.7	3.9
9 倭姫宮	1.3	1.7	0.8	▲ 0.5	▲ 0.9
10 神宮美術館	0.6	0.2	0.3	▲ 0.3	0.1

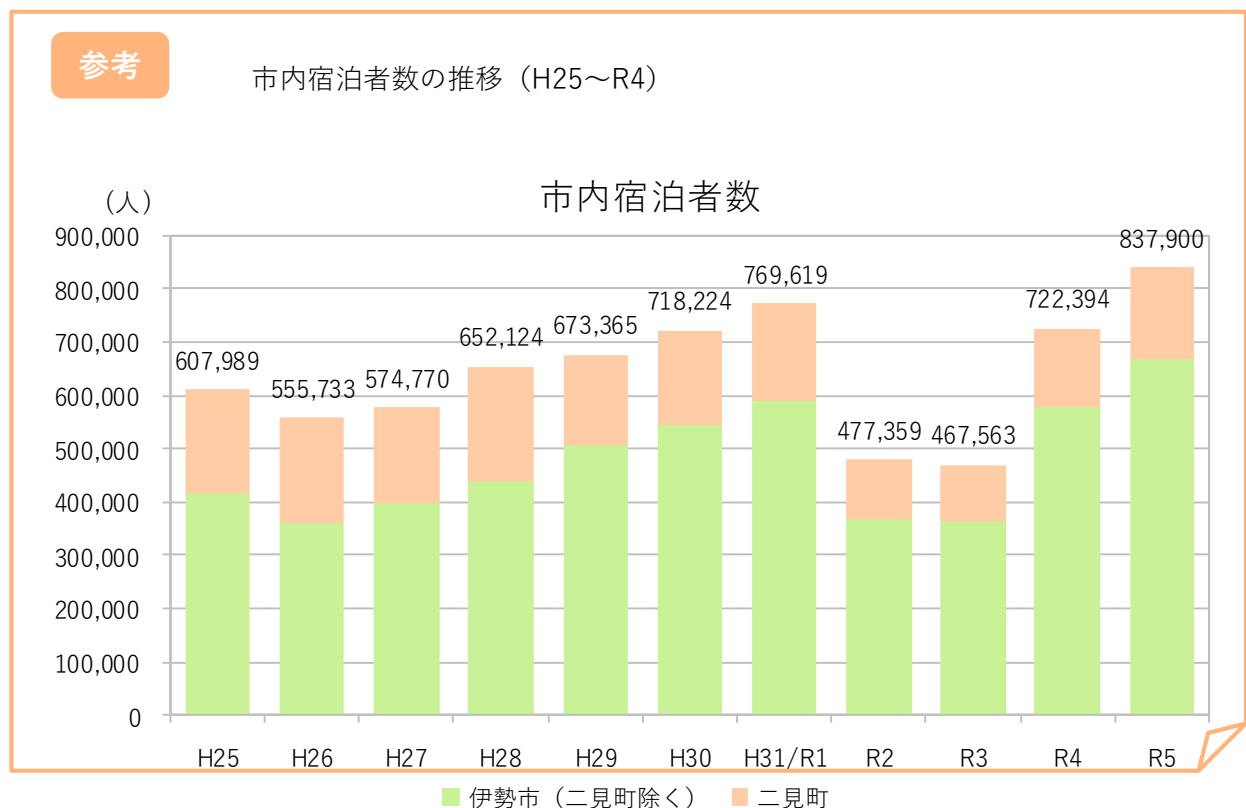
### 〈3. 市内宿泊者数〉



・令和5年の市内宿泊者数は837,900人で目標値550,000人に対して達成率152.3%、前年値467,563人に対して16.0%増となった。

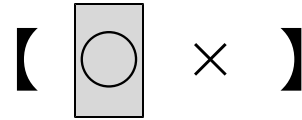


【検証】 目標値及び前年値を大きく上回る結果となりコロナ禍前の令和元年を大きく超える実績となった。この要因としてはビジネスホテルの新規開業による受入可能数の増加などが挙げられる。市内宿泊者数の増加は市内消費の拡大を図り、観光による地域経済への波及効果を一層高めていく効果が高く、今後も増加傾向を目指すことが重要となる。

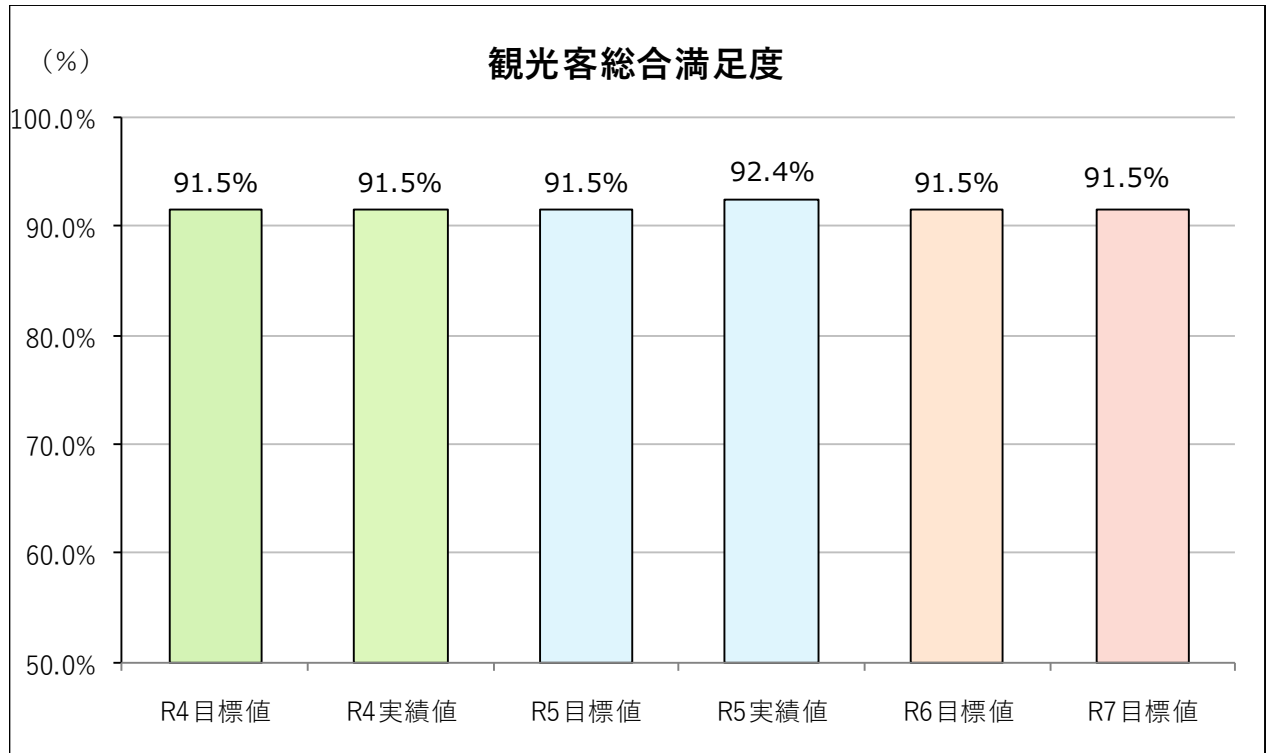


## ●基本方針に基づく取組みと検証

### 基本方針1 「神宮を中心とした物語性」の発掘・展開

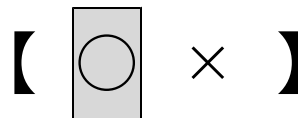


神宮を中心とし、伊勢市全体に広がる観光資源や精神性の魅力を再度地域の人々、そして伊勢市を愛する市外の人々も巻き込んで掘り起こし・磨き上げPRすることで、新たな交流を生み出します。

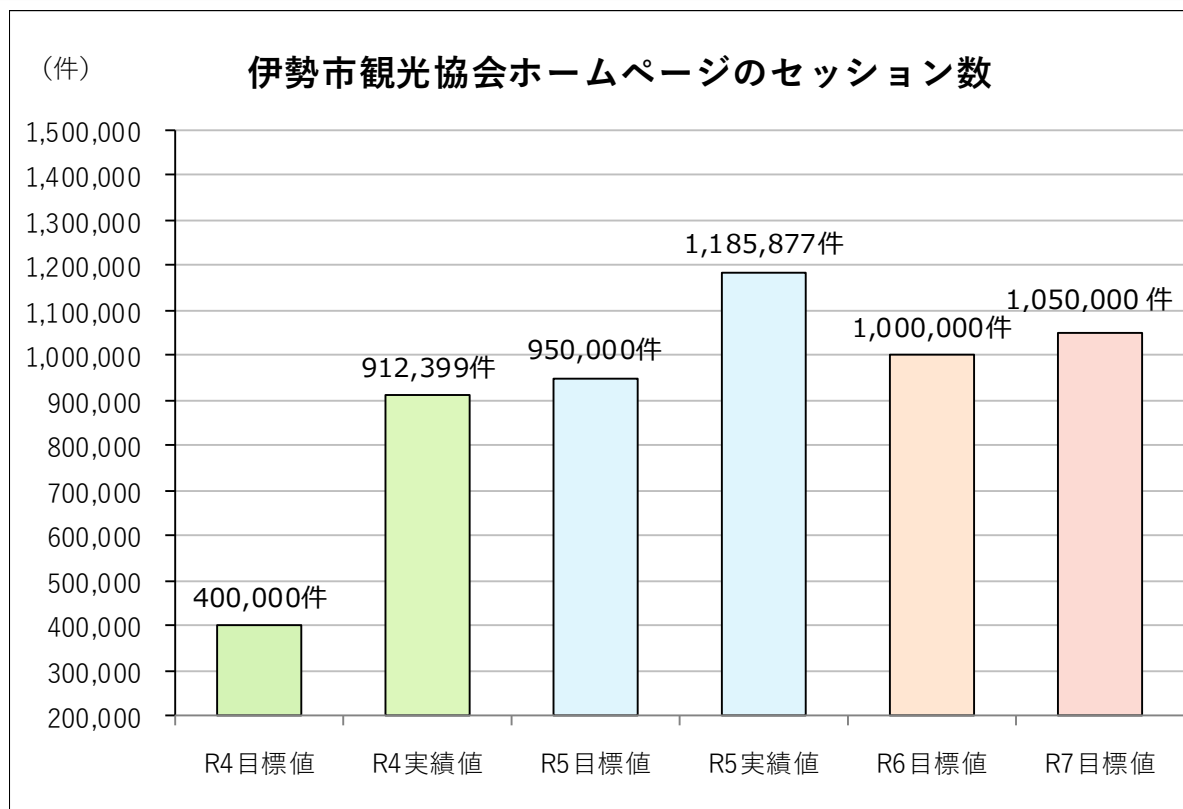


○目標に対して達成率 101.0%となり、高い水準を維持している。

○観光客総合満足度はコロナ禍の令和2年に91.1%、令和3年・令和4年に91.5%となり、令和5年も高い水準を維持できている。今後もこの高い水準を維持していくことが重要となる。

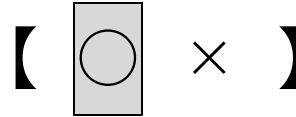


情報発信や来訪をきっかけに、伊勢市の持つ歴史文化や物語性の魅力に共感していただき、もっと伊勢に関わりたいという人を増やし、単なる観光を越え、更に強くこの伊勢の地域とつながりを持つ「関係人口」の創出があわせて必要となっています。

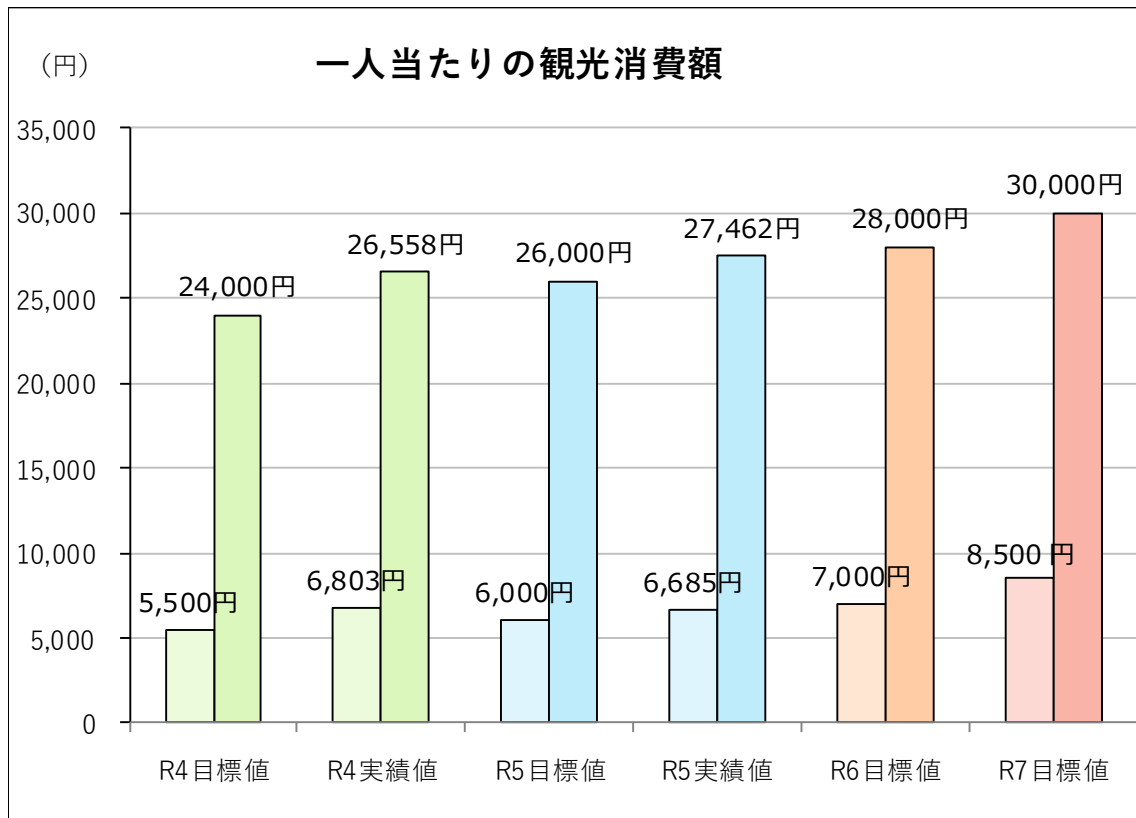


- 目標に対して達成率 124.8%となり、目標を上回る実績となった。
- 令和3年3月末にスマートフォンユーザー視点を重視したリニューアルを行った。
- コロナ禍後から増加がみられ、令和5年度はその傾向が引継ぎ続いた。旅先の情報をインターネットで収集する観光客の動態がより一般的になってきたといえる。年間のセッション数が110万を超える高水準となった。

### 基本方針3 産業視点での観光の推進

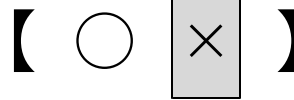


観光とは、人生の楽しみであると同時に、観光地に住む人々の暮らしを豊かにする重要な要因の一つです。地域の人々を豊かにするには、産業としての視点をもって、消費を生み出し、地域に継続して効果を波及させることが重要です。そのために、マーケティング調査や、調査に基づく戦略の構築・実行、消費を促進するための観光資源へのストーリー性が求められます。



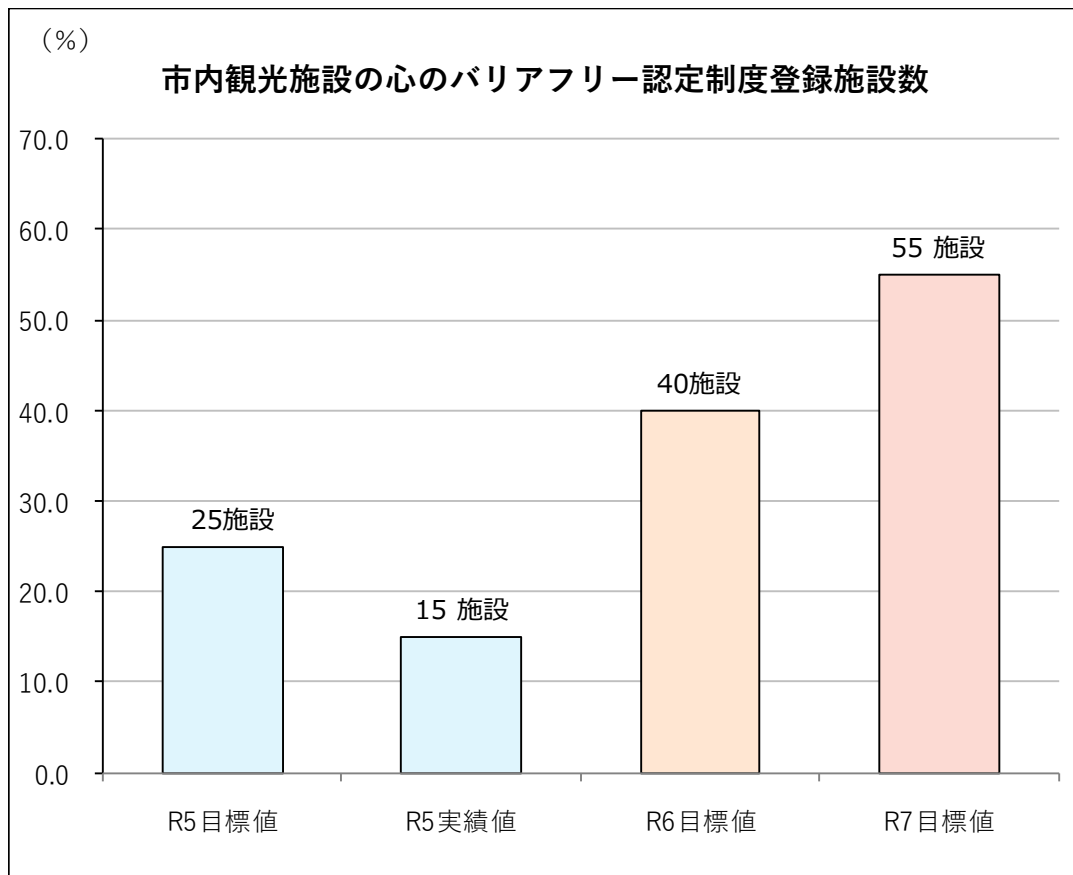
- 目標に対して日帰りは達成率 114.4%、宿泊は達成率 105.6%となり日帰り、宿泊共に目標達成となった。
- 特に4期の実態調査（令和5年12月2日、3日に実施）では日帰りで8,653円、宿泊28,999円となり、宿泊はコロナ禍前の平成31年を上回る結果となった。

## 基本方針4 安全・安心な受入環境・受入基盤の整備



伊勢市には神宮をはじめとした多種多様な資源があり、特に歴史文化を感じる観光におけるポテンシャルには特筆すべきものがありますが、一方で、観光ニーズは多様性を極め、日々、求められる条件は変わりつつあります。近年においては、新型コロナウイルス感染症や自然災害などへの備えや、多様性に対応した受入環境なども求められています。

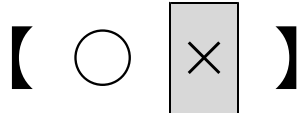
これらのニーズへの対応のためには、最新のデジタル技術の活用や、多様な主体による受入環境の構築に取り組み、伊勢のまちを形作る歴史文化とのバランスを取りつつ、訪れる人も住む人も双方が満足できる受入基盤の構築が必要です。



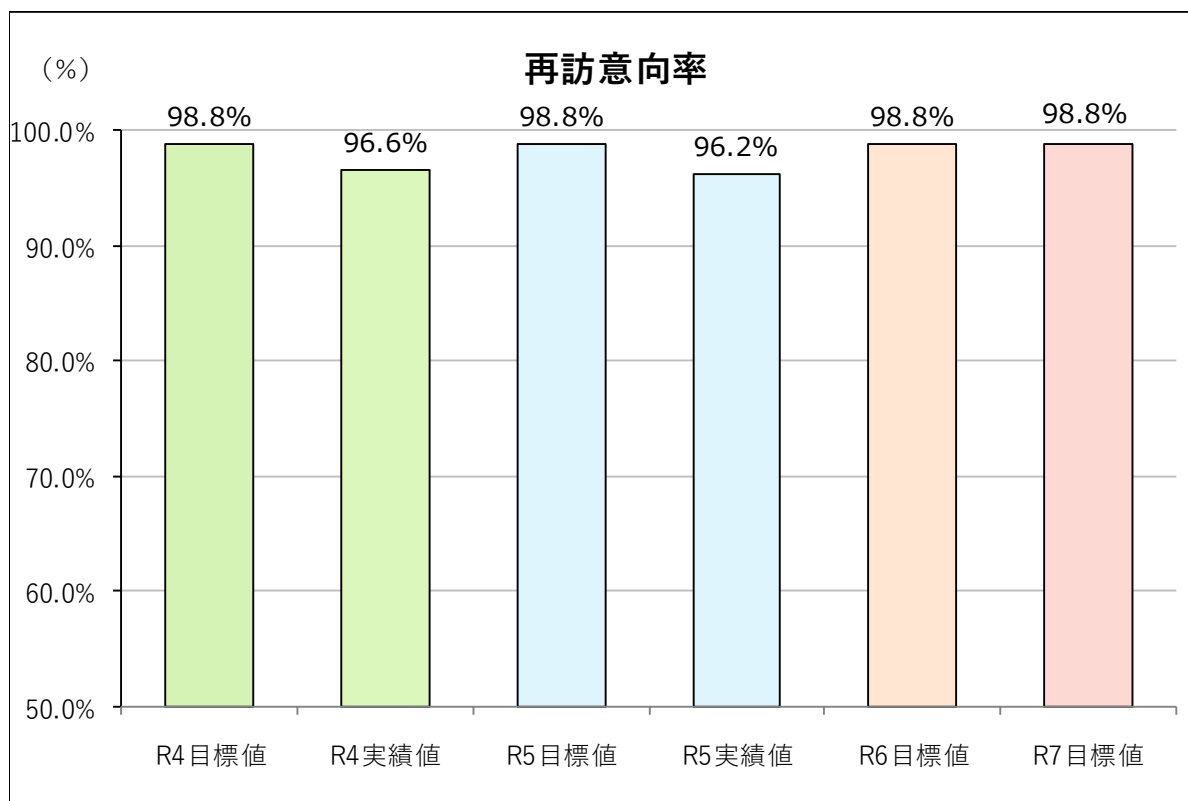
- 目標に対して達成率 60.0%と目標未達となった。
- 15 施設のうち、10 施設が宿泊施設、2 施設が飲食店、3 施設が観光案内所となっている。
- 飲食店の中には、スタッフによる対応レベルの差を懸念する声もあり、人材教育への不安も認定数が伸び悩んだ要因のひとつと推察する。
- 令和 6 年 4 月以降、民間事業者も「合理的配慮の提供」が義務化になることもあり、その啓発とともに、引き続き、認定施設数の増加に向け、制度周知を行っていく必要がある。



## 基本方針5 「共生と競争」の視点での連携の推進



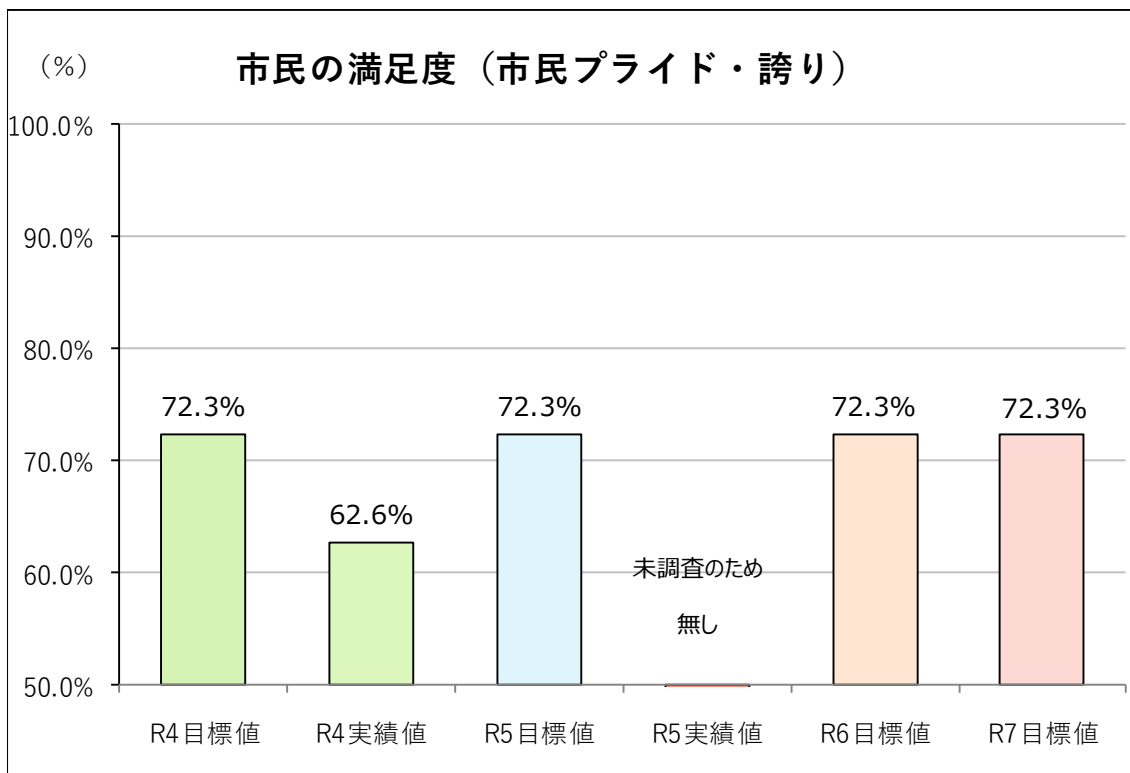
このコロナ禍による観光客の減少を伊勢市の観光を見つめ直す機会と捉え、ウィズコロナ・アフターコロナにおいても、周辺地域との「共生」だけでなく、時にはライバルとして「競争」し、互いが切磋琢磨することによって、双方の持つ地域資源やコンテンツの魅力を高め、更なる発展を目指します。



- 目標に対して達成率 97.4%と目標未達となった。
- 再訪意向率は令和 3 年に 98.8%と観光客総合満足度と同じく過去最高となった。令和 5 年実績の 96.2%は、高い水準ではあるものの昨年より下がり、目標未達となった。伊勢市及び周辺地域が観光客に繰り返し選ばれる観光地となること、そしてその中心が伊勢となることを目指していく必要がある。

## 基本方針6 市民・地域の「おかげさまの心」の醸成と連携の強化 【 ○ × - 】

市民がこれまで多くの観光客を迎え入れ、繁栄してきた伊勢市の観光文化について学ぶ機会を設けることで、「おかげさまの心」をもって観光客を迎え入れることへの誇りを醸成することが大切です。そのうえで、地域が一体となって観光客を迎え入れる観光地として発展し続けることを目指します。



- 今年度は目標に対する市民アンケートが実施できていないため目標 72.3%に対して実績値無しとなった。次年度以降は市民アンケートに質問を追加予定している。
- モニタリング指標のR 5 実績については、前年との比較で検定お伊勢さん合格者数の延べ人数は 24 人増、「伊勢っ子」事業参加者延べ人数は 38 人減、「伊勢たびナビの会」開催会議等参加者人数は 13 人減となった。

参考 モニタリング指標	令和4年			令和5年		
	目標値 (モニタリング は前年値)	実績値	達成度	目標値 (モニタリング は前年値)	実績値	達成度
【目標指標】 市民の満足度（市民プライド・誇り）	72.3%	62.6%	86.6%	72.3%	(未調査のため 無し)	-
【モニタリング指標】 検定お伊勢さん合格者数の延べ人数	2,629	2,644	-	2,644	2,668	-
【モニタリング指標】 「伊勢っ子」事業参加者延べ人数	124	142	-	142	104	-
【モニタリング指標】 「伊勢たびナビの会」開催会議等参加者延べ 人数（年間）	15	50	-	50	37	-